

お土産は
いなりまんじゅう♡



久井稲生神社では「祇園祭」「はだか祭り」「御当」の神事の際に、参拝客でにぎわう



ぶらり 03

三原 久井稲生神社 KUIINARIJINJA
0847-32-6029



京都伏見稲荷の分霊
日本最古で近郷随一

京都伏見稲荷の分霊としては日本最古であり、近郷随一の神社。三原城主の小早川隆景は 1585 年に、稲生神社に「紙本墨書大般若教六百巻」を奉納。その後「紙本墨書大般若教六百巻」は、県の重要文化財の指定を受け、今も神社に保管されている。

があれば、久井の街並みを眺めることができる。その稲生神社の参道には商店が軒を連ねる。中でも『いとう松月堂』は地元で愛される老舗。そこで人気の久井名物「いなりまんじゅう」をお土産に購入し、街をブラブラと散策するのもおすすめです。参拝と散策を終えたあとは、バス停近くの「軽食・喫茶 アポロ」で、バスが来るのを待ちながら休憩するのも良いだろう。ランチタイムには日替わり定食を堪能できるので、朝から参拝＆散策するのも悪くない。

ぶらり 04

三原 MAP P9
アポロ APOLLO
0847-32-6064



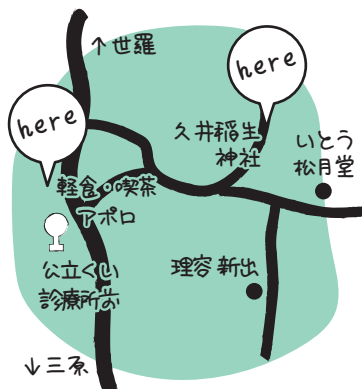
日替わり定食 650 円。
写真のメニューは豚肉の塩麹焼き



店内は古き懐かしい雰囲気。一人でも座れるカウンター席がある

久井町初の喫茶店は
今も地元住民の憩いの場所

約 40 年前にオープンした久井町初の喫茶店は、常連客でにぎわう。地元の野菜や久井産の米を使うというボリュームたっぷりの日替わり定食は人気のメニュー。また、サイフォンで入れるブレンドコーヒーも長年愛されるこのお店の味だ。



紅葉シーズンは色とりどりの葉が溪谷を鮮やかに彩る



四季折々の表情で
見る者の心を癒やす

県道 25 号線沿いのバス停「落合橋」から、徒歩 1 分の場所にある落合溪谷は、初夏にはホテルを見かけることができ、秋には見事な紅葉を見せる。付近には「坂井原水力発電所跡」が残っている。歴史を感じるのも悪くない。

ぶらり 02

三原 落合溪谷 OCHIAI KEIKOKU



バス停「石走」から落合溪谷までは徒歩 20 分程度。散歩がてら歩くのも良い

彼らはどこで降りるのだろうか。エンジン音と車内アナウンスがこだまするバスは、三原市内の街並みを望みながら、山の中へとどんどん進んでいく。三原駅から、およそ 30 分くらいだろうか。バス停「石走（いしばしり）」に着く。目の前には田舎茶屋というレストランが昔あったが、残念ながら移動したようだ。しかし、そのバス停から徒歩 5 分ほどの場所に、古民家風のレトロな佇まいのそば店がある。そこで昼飯をいただく

公立
くい診療所
前
久井で下車すれば
街並みを満喫

のもいいだろう。バス停からは少し傾斜の道路を上っていく。自然に囲まれた道を歩くのは、とても気持ちが良い。食後は、県道 25 号線に戻り、久井方面へ歩いてみよう。20 分ほど歩けば、「落合溪谷」にたどり着く。マイナスイオンを放出する溪谷で、のんびりと過ごすのも悪くない。

石走を過ぎてから、しばらく平坦な山あいを通るバスは、住宅街らしき町の中に入っていく。生活の基盤としてバスが利用されている証だろう。ここで、老夫婦が乗車してきた。どこまで行くのだろうかと考えていると、バス停「久井」に到着した。老夫婦はここで下車し、稲生神社がある方へと歩いて行った。「久井」から徒歩 5 分の場所に、『久井稲生神社』がある。ここは、毎年 2 月に年に一度の「はだか祭り」が行われ、大いににぎわう神社だ。また、長い石段を上